

神戸、静岡に屈す

全国高校選手権大会

小、中、高の指導の一貫性が必要

会場を関西から初めて首都圏に移した51年度全国高校選手権大会は、元旦の開会式のと2日から8日まで各地区の31代表による好ゲームが展開され、浦和南が2年連続優勝の偉業を達成した。決勝は浦和南と静岡学園の間で行われ、激しい攻防のなか勝負強さにまさる浦和南が、5-4という決勝戦ではめずらしいスコアで勝利をおさめた。しかし、惜しくも優勝を逸した静岡学園は、これまでの高校チームはもちろん日本リーグのチームにも見られない高度なテクニックを披露し、日本中のサッカーファンに強烈な印象を与えた。日本のトップチームが敗れるたびに「サッカー＝スピード」説が台頭するが、ドリブルがサッカーの出発点であることを静岡がはっきり示してくれた。大人の選手にプレーの早さを欠くことはできないが、その過程においては、あわてずボールをもつ習慣を身につける時期が必要ではあるまいか。スピードを強調し過ぎるあまり、サッカーの本質を見失うようなことがあってはならない。そのような意味において、今回の静岡の活躍は日本の少年やユース年齢のサッカー指導にひとつのヒントを与えることになりそうだ。彼らがこれからスピードやパスワークを身につけると、どんな選手に成長していくのだろうか。5年後、10年後のプレーをぜひ見たいものだ。

神戸高のサッカーは

兵庫の縮図

兵庫代表の神戸は1回戦で神奈川代表の相工大付属高と対戦。前半から果敢に攻めため、桜木、林のシュートでリードを奪い、後半4分に林が3点目を決めた時は楽勝かと思われたが、激しい反撃を受けて1点差までつめ寄せられ、辛じて逃げきった。2回戦で静岡学園の前に力尽きた。大会前から苦戦が予想されていたが、やは



神戸は桜木(白)のシュートで先制点をあげる(1月4日、1回戦 神戸-相工大付、駒沢競技場)

り守備の弱さを突かれてしまった。個々には桜木、林をはじめ柴田、千葉、厚田など特徴をもった選手が多いだけに、素材の育て方によれば全国のトップクラスのチームにするのも可能であったと思われる。だが、大会が終了した現時点において、兵庫の関係者が考えなければならないのは、高校3年間の鍛え方よりも中学、小学時代の指導のあり方ではなからうか。一度ボールを持ったらなかなか取られない、ボールが持てるからゆっくりとまわりの状況判断ができる静岡チームには、1、2年の選手が多かった。これは中学時代にサッカーに必要な基礎を、すでに身につけてい

十分だったか

施設、運営面

首都圏と関西で交互に開催しては？

大会期間中、会場に足を運んだ観客の数は昨年を上回ったが、施設や運営面では十分とはいえないところも見られた。まず、グラウンドのひどさをあげることができる。霜どけで軟弱なため、足をとられてミスプレーが目立ち、サッカーの興味が半減してしまう試合がいくつか見られた。たしかに両チームとも同じ条件のもとで戦うのだから、試合の結果には関係ないかもしれない。しかし、失敗しないためにボールをさわる回数を減らし、ゴールヘラッシュする戦法が出



グラウンドでは技術が死んでしまう。大宮の会場は特にひどかった。どころこの

神戸製鋼が1部制覇

2部優勝は神大同好会(A)、神戸FCユース(B)

3部	A	B	C	D	E	F	G
優勝	赤塚山OB	電々神戸	舞子台	ヒルケル	魚崎クラブ	ビートルズ	南神戸朝鮮
2位	ケンタッキ	大同生命	神大OB	海事検定	瀬神戸生協	関電神戸	アーセナル
3位	兵庫教員B	朝銀信用	アーベツ	星陵クラブ	鶴甲1丁目	国鉄鷹取	ドクターズ
4位	灘.F.C	神戸税関	ダックス	是則運輸	摩球倶楽部	白鶴	水道局
5位	アパッチ	ナゾコ	タツクラブ	カイザーズ	三菱ユース	太陽神戸	川西倉庫
6位	三洋電機	クレモナ	川鉄本社	会下山	三菱電機	大協	エシジョイ
7位	三星堂	リバサイド	ホワイト	光安	ロジェ	西菱エンジ	YMCA
8位	阪神変圧器	三ツ星	双和OB	山本設計	富士娘	三井倉庫	垂水プレイ
9位	富士電機	—	—	—	検定新日本	—	—

対戦成績は3月号に掲載の予定

51年度神戸市

社会人リーグ

てきた時、ゲームの中から「技術」が消え、サッカーの正しい姿がゆがめられることになりはしないか。大宮などでは降霜を防ぐために夜間はむしろが敷かれていたが、効果は全くなかったといっ。国立競技場もやはりよくなかった。来年度はしっかりした準備と確実な対策を施してもらいたいものだ。また、この大会はテレビ局が後援となって熱戦の様子が放映され、多くのファンを楽しませてくれた。そのありがたさは十分に理解できるが、テレビ放映の都合が前面に表れており、主催側の自主性の回復を強く望む声があちこちで聞かれた。1回戦の大半が4日に行われるのに開会式を天皇杯決勝の前に挙行したり、親しみの持たれていた伝統ある大阪大会を特別な理由がないのに首都圏へ移したのはその一例であり、テレビ局側の意見に押し切られたと見るほかない。このほか会場が各地に分散しており、たとえば大宮と駒沢の間は電車、バスで実に2時間もかかり不便も多かった。グラウンド条件などではおにすぐれている関西での利点も考慮して、大会を首都圏と関西で交互に運営してはどうだろう。それによりいろいろな問題も解決できるのではないと思われる。(ウエノ)

りっぱな指導者として巣立つ

JFAリーダー講習会終了 兵庫協会

昨年11月21日に開講したJFAリーダー取得講習会(主催兵庫協会、後援兵庫県教育委員会)は1月15日、全日程を終了した。主会場の神戸大学は気温5度前後の寒さだったが、五島裕治郎、一北四郎氏らのコーチと20名あまりの受講生は、毎日確実にハードスケジュールを消化した。コーチの熱心な指導に受講生は息つくひまもないくらいで、スクールが終わるころには、心身ともりっぱなコーチに育てあげられていた。講習会の内容は別表のとおりだが、講義と実技が交互に行われる。たとえば日曜の朝、9時過ぎから約1時間のサッカー理論の講義のあと、グラウンドではきびしい戦術、体力のトレーニングが待っており、昼食をすませると休む時間もなくスポーツ医学に取り組むといった調子である。コーチは選手に実際に



った。なお、JFAリーダーの認定については後日発表がある予定。

講習内容	
実技	120分×10回
戦術	4
技術	3
体力	3
講義	60分×16回
サッカー理論(ルール)	2
(歴史)	1
(協会運営と組織)	1
(戦術と作戦)	3
運動理論(指導法)	2
(キネシオロジー)	2
(スポーツ心理学)	1
(チームの統率)	1
スポーツ医学(生理学)	1
(解剖学)	1
(救急法)	1
指導実習	120分×2回 1人20分
少年の指導	12歳未満
青年の指導	12歳-18歳
テスト	
JFAリーダーテスト	実技テスト
	筆記テスト
HFAリーダーテスト	実技テスト
	筆記テスト

▲実技テストのあと平木氏の話を傾ける受講生たち(1月15日、神戸大学)
▲課題テーマについて意見を述べあう発表会も行われた(1月9日、神戸大学)

ユニオンが優勝

=社会人中央大会=

県リーグ昇格

51年度兵庫県社会人中央大会は県下各地区の代表24チームの中から勝ち抜いたユニオンロマンチカ(西宮)、兵庫朝鮮(神戸)、鐘化高砂(東播)、中央ホンダ(姫路)の4チームが出場して12月5、12、19の3日間、六甲高と磯上グラウンドで行われ、ユニオンロマンチカが優勝して52年度兵庫県社会人リーグへの昇格を決めた。また、2位の鐘化高砂、3位の中央ホンダがそれぞれ県リーグの日触姫路、川崎重工との入れ替え戦に出場する。

社会人中央大会決勝リーグ戦成績									
順位	チーム	ユニオン	鐘化高砂	中央ホンダ	兵庫朝鮮	勝点	得失点差		
1	ユニオン	△	△2-2	○	○4-2	5-0	5	-7	
2	鐘化高砂	△	△	●	●1-2	4-0	3	3	
3	中央ホンダ	○	○	○	○2-4	2-1	3-6	2	-4
4	兵庫朝鮮	●	●	●	●0-5	0-4	6-3	0	-6

神戸社会人リーグ運営会議日程

2月17日(木) 3月17日(木)

◎本紙は次のスポーツ店にもあります

関正スポーツ
生田区下山手通6丁目65 ☎ 078(371)0857
兵庫県庁300m西側

灘スポーツ
灘区倉石通5丁目1-8 ☎ 078(861)4671
市バス水道筋6丁目上る100m東側

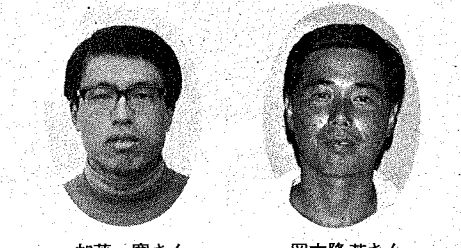
ヤマダスポーツ
葦合区熊内橋通6丁目3 ☎ 078(241)9317
雲中小学校前

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5 ☎ 078(576)0870
バンドウ化学南

JFAコーチ誕生

加藤、岡本の二人

51年度のJFAコーチングスクールはトヨタスポーツセンターで、前期7月11日~24日、後期11月29日~12月13日の2期に分かれて行われ、31名が51年度の卒業生として日本協会から認定された。兵庫からは加藤寛さん(26)と岡本隆英さん(31)が、きびしい講習と試験に合格し、新しくJFAコーチに仲間入りした。加藤さんは社団法人神戸フットボールクラブの職員として、青少年の選手づくりに日夜努力しており、サッカーを通じて社会体育を積極的に推し進めている同クラブの中心的存在である。現在、中学生年齢とユース年齢のチーム育成を担当し、その情熱的な指導のもとから、明日の神戸、兵庫を背負ってほしい。



加藤 寛さん 岡本隆英さん
く選手の出現もそう遠い日のことではないだろう。
また、岡本さんは最近めきめき力をつけてきた神戸市立須磨磨の先生だが、関西社会人リーグの兵庫教員団チームの監督もつとめており、その手腕がいよいよ本格的に発揮される時がきた。持ち前のサッカー理論とすぐれたチームづくりの才能に一層みがきをかけてもらいたい。

52年度社会人チーム受け付け 神戸市協会

神戸市協会では52年度登録希望の社会人チームを受け付けています。

申し込み……はがきにチーム名、代表者氏名、住所、電話番号等を明記のうえ 3月5日までに届くよう郵送のこと。

あて先……〒657 神戸市灘区篠原南町2丁目4-31 中村寿男 ☎078-861-7069 (自宅)

資格……特になし。ただし1チームにつき最低3名は審判員に登録しなければならない。

登録料……1チーム1年間につき31,000円(昨年の実績)程度。このほか日本協会個人登録費が1人1年間につき700円、なお兵庫協会、関西協会、日本協会へのチーム登録費は上記金額に含む。

備考……登録希望チームの代表者は3月10日(木)午後6時、神戸登山研修所(阪急西灘駅下車、北へあがる徒歩5分)に集合のこと。